

令和6年第2回士別市議会定例会会議録（第4号）

令和6年6月21日（金曜日）

午前10時00分開議

午前10時33分閉会

本日の会議事件

開議宣告

諸般の報告

日程第 1 報告第 8 号 出資団体の経営状況報告について（士別市農畜産物加工株式会社）

日程第 2 報告第 9 号 出資団体の経営状況報告について（株式会社翠月）

日程第 3 報告第 10 号 出資団体の経営状況報告について（羊と雲の丘観光株式会社）

日程第 4 報告第 11 号 出資団体の経営状況報告について（まちづくり士別株式会社）

日程第 5 意見書案第2号 ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の
充実・強化を求める意見書について

意見書案第3号 厳しい農業情勢を打開する改正基本法と関連法案を求める意見書
について

意見書案第4号 令和6年度北海道最低賃金改正等に関する意見書について

意見書案第5号 地方財政の充実・強化に関する意見書について

閉会宣告

出席議員（14名）

副議長	1 番	村 上 緑 一 君	2 番	石 川 陽 介 君	
	3 番	湊 祐 介 君	4 番	中 山 義 隆 君	
	5 番	加 納 由美子 君	6 番	奥 山 かおり 君	
	7 番	西 川 剛 君	8 番	佐 藤 正 君	
	9 番	真 保 誠 君	10 番	喜 多 武 彦 君	
	11 番	谷 守 君	12 番	大 西 陽 君	
	13 番	十 河 剛 志 君	議 長	15 番	山 居 忠 彰 君

出席説明員

市 長	渡 辺 英 次 君	副 市 長	法 邑 和 浩 君
総 務 部 長	大 橋 雅 民 君	市 民 部 長	丸 徹 也 君
健康福祉部長	東 川 晃 宏 君	経 済 部 長	坂 本 英 樹 君

建設環境部長 藪 中 晃 宏 君

教 育 委 員 会 長
教 育 委 員 会 長

泉 山 浩 幸 君

教 育 委 員 会 長
教 育 委 員 会 長

三 上 正 洋 君

市 立 病 院 者
市 立 病 院 者

中 舘 佳 嗣 君

經 営 管 理 部 長

池 田 亨 君

農 業 委 員 会 長
農 業 委 員 会 長

保 科 隆 志 君

農 業 委 員 会 長
農 業 委 員 会 長

林 秀 忠 君

監 査 委 員

浅 利 知 充 君

監 査 委 員 会 長
監 査 委 員 会 長

四 ッ 辻 秀 和 君

事務局出席者

議 会 事 務 局 長

岡 崎 忠 幸 君

議 会 事 務 局 長
議 会 事 務 局 長

須 藤 友 章 君

議 会 事 務 局 査
議 会 事 務 局 査

中 井 聖 子 君

議 会 事 務 局 査
議 会 事 務 局 査

清 水 健 正 君

(午前10時00分開議)

○議長（山居忠彰君） ただいまの出席議員は全員であります。

これより本日の会議を開きます。

○議長（山居忠彰君） ここで、事務局長から諸般の報告をいたします。

○議会事務局長（岡崎忠幸君） 御報告申し上げます。

本日の議事日程及び諸報告については配信のとおりでありますので、朗読を省略いたします。

以上で報告を終わります。

(朗読を経ないが掲載する)

1. 議会運営委員会から送付された議案は次のとおりである。

意見書案第2号 ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書について

意見書案第3号 厳しい農業情勢を打開する改正基本法と関連法案を求める意見書について

意見書案第4号 令和6年度北海道最低賃金改正等に関する意見書について

意見書案第5号 地方財政の充実・強化に関する意見書について

以上報告する

令和6年6月21日

士別市議会議長 山居 忠彰

○議長（山居忠彰君） それでは、これより議事に入ります。

日程第1、報告第8号 出資団体の経営状況報告についてを議題に供します。

提案者の説明を求めます。坂本経済部長。

○経済部長（坂本英樹君）（登壇） ただいま議題となりました報告第8号 出資団体の経営状況について、地方自治法第243条の3第2項の規定により御報告申し上げます。

初めに、士別市農畜産物加工株式会社については、市から、すぐる食品株式会社へ経営譲渡することとし、必要な一連の事務処理を進めていましたが、令和5年度末をもって全ての手続が完結したことから、すぐる食品株式会社の完全子会社となったところです。

第29期営業年度経営及び決算状況につきましては、第28期同様、主力商品の卵製品を中心に、地元農産物であるバレイショやキャベツなどを原料とした加工製品の製造・販売が行われてきました。

主な製品別の売上げ状況として、卵製品は16品目で1億1,591万1,000円、全製品売上げに占める割合は約59%、バレイショ製品は27品目で5,763万6,000円、約29%、キャベツ製品は8品目で2,024万7,000円、約10%となっており、このほか大豆製品や羊肉製品の販売を含むその他の売上げでは395万2,000円となりました。

これにより、売上額は、目標である２億6,400万円に対し、74.9%の１億9,774万6,000円となり、営業外収益39万6,000円や、短期貸付金の債務放棄に伴う特別利益8,650万円を含めた収入総額は２億8,464万2,000円となったところです。

次に、費用として、売上原価が２億1,605万6,000円など、支出総額は２億1,640万7,000円となり、差引き6,823万5,000円の当期純利益となりました。

このため、前期からの繰越利益剰余金マイナス8,277万円に当期純利益6,823万5,000円を合わせた繰越利益剰余金はマイナス1,453万5,000円となり、資本金1,100万円を加えた純資産はマイナス353万5,000円となったところです。

第29期の経営状況については、鶏卵価格をはじめとした物価高騰が依然として続いたことにより、製造経費が経営を圧迫する中、令和５年10月出荷分では29品目、平均10.9%の価格改定を行ったところですが、値上げに関する注文先との価格交渉に時間を要することから、値上げの影響は限定的となり、年間を通しては目標を大きく下回る結果となった次第です。

以上申し上げ、士別市農畜産物加工株式会社の経営状況の報告といたします。（降壇）

○議長（山居忠彰君） 質疑に入ります。

御発言ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） 御発言がなければ、以上で報告を終わることに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） 御異議なしと認めます。

よって、報告第８号は報告を終わることにいたします。

○議長（山居忠彰君） 次に、日程第２、報告第９号 出資団体の経営状況報告についてを議題に供します。

提案者の説明を求めます。坂本部長。

○経済部長（坂本英樹君）（登壇） ただいま議題となりました報告第９号 出資団体の経営状況について、地方自治法第243条の３第２項の規定により御報告申し上げます。

株式会社翠月の第27期営業年度経営及び決算の状況についてです。

当期において、エネルギー関連や食材費などの価格高騰が続き、経営を圧迫する事態が続いたところでしたが、可能な限りの経費削減と新型コロナウイルス感染症の５類への取扱い移行に伴う回復基調もあり、全ての施設で利益を上げることができました。

まず、スポーツ合宿センターの各部門の状況についてですが、宿泊部門において、合宿者の受入れは、新規チームを含め例年以上の入り込みとなったほか、自動車試験関係についても、タイヤメーカーの販売イベントが昨年以上の実施により増加した結果、ほぼコロナ禍以前の実績に近づくことができました。

次に、宴会部門においては、法要等を中心に回復傾向にありました。

入浴部門や食堂部門においても客足が戻り、前年度を上回る実績となりました。

仕出しについても、宅配弁当をはじめとする弁当関係の販売を継続し、売上げは前年度を上回りました。

次に、朝日地域交流センターと朝日農業者トレーニングセンターにおいても、コロナ禍からの回復基調にあり、効率的な運営と利用拡大に向けて、両施設の連携による利用促進を図った結果、利用は前年度を上回る結果となりました。

これらの各部門を合わせた売上総額は1億8,165万8,000円となり、このほか営業外収入275万9,000円、3施設の指定管理料収入7,803万8,000円を加えた第27期営業年度における収入総額は、2億6,245万5,000円となったところです。

続いて、これに要した費用についてであります。売上原価が4,490万4,000円、販売費及び一般管理費で2億1,241万2,000円など、支出総額は2億5,752万2,000円となり、差引き493万3,000円の当期純利益となったところです。

なお、本市の出資金1,000万円については、本事業資金として適正に管理されています。

次に、第28期営業年度の事業計画及び予算についてです。

事業計画として、スポーツ合宿センターでは、実業団の合宿や寒冷地試験関係者の宿泊確保に関係機関とも連携する中で、引き続き取組を進めます。

また、法要など家庭行事や家族単位での旅行に照準を当てた宿泊確保のほか、閑散期における宿泊プランをインターネットを通じて広く周知することで宿泊客の増加を目指すとともに、利用客に親しまれる施設運営に努め、利用の拡大を図ります。

さらに、日帰り入浴については、継続実施する翠月の日などのサービスデーの充実や、定期的な入浴回数券の販売促進、さらには、実施予定である大浴場の改修により、快適な入浴空間の維持に努め、入館者の拡大を目指します。

また、サフォーク料理など、従前から取り組んでいる地元食材を活用した魅力あるメニューや季節の食材を生かした料理の提供のほか、宅配弁当をはじめとした仕出しの需要も多いことから、その充実を図ります。

次に、朝日地域交流センターについては、合宿や各スポーツ大会関係者などの確保に努めるとともに、利用拡大を図ります。

また、入浴客については、回数券のセット販売を継続しながら、イベントの開催や旬の食材を使用した食事の提供、さらには、少人数の宴会や仕出しを行うなど、利用者の増加に向けた取組に努めます。

朝日農業者トレーニングセンターについては、地域における身近なスポーツ活動の拠点として、地域交流センターとの一体的な管理運営の下、効率的な運営に努めます。

次に、予算についてです。

まず、収入では、スポーツ合宿センターの利用者を10万5,400人と見込み、売上額、指定管理料などを含め、1億8,053万円を計上しました。朝日地域交流センター、朝日農業者トレー

ニングセンターは、4万8,770人の利用を見込み、売上額、指定管理料などを含め、8,698万7,000円を計上し、3施設の総収入額は2億6,751万7,000円を見込んでいるところです。

これに要する費用としては、3施設の売上原価、販売費及び一般管理費を合わせ2億6,751万7,000円を計上し、収支の均衡を図った次第です。

以上申し上げ、株式会社翠月の経営状況報告といたします。（降壇）

○議長（山居忠彰君） 質疑に入ります。

御発言ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） 御発言がなければ、以上で報告を終わることに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） 御異議なしと認めます。

よって、報告第9号は報告を終わることにいたします。

○議長（山居忠彰君） 次に、日程第3、報告第10号 出資団体の経営状況報告についてを議題に供します。

提案者の説明を求めます。坂本部長。

○経済部長（坂本英樹君）（登壇） ただいま議題となりました報告第10号 出資団体の経営状況報告について、地方自治法第243条の3第2項の規定により御報告申し上げます。

羊と雲の丘観光株式会社の第33期営業年度経営及び決算の状況についてです。

当期も指定管理者としての業務を担う中で、羊に特化した様々なPRによる集客を図り、営業利益の確保を目指した経営を進めました。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大が終息する一方、物価高騰による仕入価格、飼料代の高騰など厳しい状況となりましたが、経常利益を確保することができました。

初めに、各部門の状況についてです。

まず、羊飼いの家においては、ホームページを活用したインターネット販売やSNSなどの活用のほか、積極的な情報発信に努めました。

また、ゴールデンウィーク、シルバーウィークでのイベント開催のほか、道の駅と連携したジンギスカンや天サイダーの販売などにより、入場者数及び売上げともに昨年度を上回ったところです。

世界のめん羊館においては、入館者数が昨年よりも増加するとともに、羊肉販売においても昨年実績を上回りました。

育成牧場においては、ブランディング事業に係る過年度の収入等の未申告を受け、当期において修正申告を行い、資産の取扱いも一部変更しながら決算処理を行いました。

育成牧場の羊の販売においても、売上げが上がったところです。

このような状況の中、事業実績として売上額は、羊飼いの家レストランでは2,484万5,000円、

バーベキューハウスは2,106万2,000円、世界のめん羊館は2,333万3,000円、育成牧場は805万3,000円、売店売上げも含め総額は8,362万4,000円の実績額となり、計画額を上回りました。

これに施設の指定管理料収入等の5,345万9,000円と営業外収入の215万2,000円を含め、第33期営業年度における収入総額は1億3,923万6,000円となったところです。

これに要した費用であります。売上原価が2,865万円、販売費及び一般管理費で1億2,512万2,000円、営業外費用で219万7,000円、これに前期分の修正申告分として特別利益が3,372万6,000円、特別損失については795万3,000円となり、差引き2,221万5,000円の当期純利益となりました。

なお、本市の出資金2,500万円については、本事業資金として適正に管理されています。

次に、第34期営業年度の事業計画及び予算についてです。

今年度においては、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことで、各種イベントや会合の予約が再開してきたものの、仕入価格や光熱費、飼料代なども高騰しており、営業利益を生み出すには厳しい1年になることが予想されます。

しかしながら、本市観光の拠点施設としての認識の下、健全な運営に努めるとともに、おもてなしの心や景観、食、体験の魅力ある立地環境を生かし、集客拡大を目指します。

加えて、道内外から訪れる旅行者をはじめ、市民にも喜ばれ親しまれる施設運営に努めます。

こうした中で、羊飼いの家レストラン部門では、士別産羊肉を活用した魅力あるメニューの提供を行うほか、売店では、美味で評価の高い特製ジンギスカンや天サイダーの販売、さらには士別サフォークの羊皮を使用した商品などの積極的な販売に努めていきます。

また、羊と雲の丘の壮大なロケーションを生かしたホームページによるインターネット販売や情報発信を行い、羊と雲の丘のプロモーション活動を実施します。

さらには、新たな取組やイベントの開催も検討しながら、多くの市民や観光客に親しまれる施設を目指します。

世界のめん羊館部門では、シーブドッグショーや毛刈りショーの実演などの体験型観光を実施するとともに、めん羊工芸館くるるんと連携を図りながら集客拡大を図ります。

また、育成牧場部門と併せ、サフォーク羊の安定的生産と供給を目指します。

次に、予算についてです。

収入については、羊飼いの家、世界のめん羊館の利用者総数を3万2,000人と見込み、収入総額では、これら各施設の売上額と指定管理料収入などを含め1億3,517万5,000円を計上しました。

これに要する費用については、売上原価、販売費及び一般管理費を合わせ1億3,460万円を計上し、当期利益57万5,000円を見込んだ次第です。

以上申し上げ、羊と雲の丘観光株式会社の経営状況報告といたします。（降壇）

○議長（山居忠彰君） 質疑に入ります。

御発言ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） 御発言がなければ、以上で報告を終わることに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） 御異議なしと認めます。

よって、報告第10号は報告を終わることにいたします。

○議長（山居忠彰君） 次に、日程第4、報告第11号 出資団体の経営状況報告についてを議題に供します。

提案者の説明を求めます。坂本部長。

○経済部長（坂本英樹君）（登壇） ただいま議題となりました報告第11号 出資団体の経営状況について、地方自治法第243条の3第2項の規定により御報告申し上げます。

まちづくり士別株式会社の第6期営業年度経営及び決算の状況についてです。

まちなか交流プラザ道の駅羊のまち 侍・しべつは、オープンから3年目を迎え、依然として経済情勢は厳しい経営環境の中、市や観光協会などから業務を受託するほか、様々な事業を展開してきたところです。

初めに、受託業務の状況についてです。

ふるさと納税収納等業務、観光振興業務をはじめ、観光協会業務委託、サフォークスタンプ協同組合業務委託などを引き続き受託しました。

今後においても、まちなか交流プラザとしての役割と、まちづくり士別株式会社の企業理念に沿った業務を進めてまいります。

次に、事業収入についてです。

アンテナショップでは、本年度、市内外を含め新規事業者も増加し、販売商品も拡大しました。

商品の内訳では、地元の特産品が全体の7割ほどを占めており、ほかの道の駅と比べると割合が高いことから、情報発信拠点として販売戦略に特徴を持たせてきたところです。

また、本市のみならず、友好都市のみよし市や福島県川内村、和寒、剣淵、幌加内の1市3町連携による特産品も販売するなど、広くPRしてきました。

さらに、来場者を増やす取組として、チャレンジショップを活用するほか、スポットイベント企画を開催し、来場者数の増加に努めてきたところです。

商店街等連携イベントによるまちなかのにぎわいづくりでは、中心商店街振興組合と連携し、まちなかにぎわい広場や、しべつまちゼミ、ポイント2倍セール、咲夢来マラソン、しべつ全市連合大売り出しに参加するほか、商店街周遊を促すため、士別翔雲高校と連携したイベントを企画しました。

また、中心商店街の回遊につなげていくため、アンテナショップに中心商店街振興組合のコーナーを設け、各店の商品を販売することで店舗PRの強化と個店への誘導策とした取組を行

いました。

羊のまち士別サフォークラムブランディング応援金事業については、収益増を見込んだ販売戦略と連動して、ふるさと納税寄附額の増加を目指すため、士別産ラム肉を使用したジンギスカン等の商品のブラッシュアップに努めました。

テークアウト商品については、以前より販売しているラムコロッケについて、ラム肉の増量を図るなどリニューアルに取り組み、好評を得たところです。

これらの結果、まちづくり士別株式会社の営業実績は、受託業務収入として4,720万6,000円、事業収入として1億100万9,000円、これらを合わせた売上総額は1億4,821万5,000円となり、このほか営業外収入の693万4,000円を加えた第6期営業年度における収入総額は1億5,515万円となったところです。

これに要した費用については、売上原価が9,708万7,000円、販売費及び一般管理費で5,971万6,000円など、支出総額は1億5,689万1,000円となり、差引き174万1,000円が当期純損失となりました。

なお、本市の出資金600万円については、本事業資金として適正に管理されています。

次に、第7期営業年度の事業計画及び予算についてです。

まちなか交流プラザとしての中心商店街の活性化や、まちなかにぎわい創出という施設機能の優位性を発揮し、道の駅のさらなる集客向上に努めてまいります。

事業計画として、ふるさと納税収納等業務においては、返礼品等募集要項の改正に伴い、寄附金額等、様々なニーズへ対応することが可能となったことから、返礼品掲載画像の充実、寄附申込みに係るポータルサイト数の増加等により、寄附金額のさらなる増加を目指します。

また、ほかの委託事業についても、その委託目的及び業務内容に沿った運用を関係機関と連携を図りながら進めていくほか、特産品販売などの運営事業においても既存商品のブラッシュアップや新たな商品ラインナップの構成を行い、販売強化、促進による集客に努めます。

商店街振興に向けた消費拡大の取組については、商店街などとの連携によるイベントの開催や、消費創出事業の実施のほか、まちなかを回遊できるような仕組みづくりを進めてまいります。

予算であります。収入については、アンテナショップ販売や通信販売など、道の駅に係る売上額のほか、市補助金やふるさと納税返礼品発送業務などの受託業務を含め1億4,213万5,000円を見込んでいます。

これに要する費用については、一般管理費及び受託事業費等として1億4,140万3,000円を計上し、当期純利益73万2,000円を見込んだ次第です。

以上申し上げ、まちづくり士別株式会社の経営状況報告といたします。（降壇）

○議長（山居忠彰君） 質疑に入ります。

御発言ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） 御発言がなければ、以上で報告を終わることに御異議ございませんか。
（「異議なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） 御異議なしと認めます。
よって、報告第 11 号は報告を終わることにいたします。

○議長（山居忠彰君） 次に、日程第 5、意見書案第 2 号 ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書について、意見書案第 3 号 厳しい農業情勢を打開する改正基本法と関連法案を求める意見書について、意見書案第 4 号 令和 6 年度北海道最低賃金改正等に関する意見書について及び意見書案第 5 号 地方財政の充実・強化に関する意見書について、以上 4 案件を一括議題に供します。

本案については、提案者の説明を省略いたします。

質疑に入ります。

御発言ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） それでは、これより採決に入ります。
本案については、原案のとおり決することに御異議ございませんか。
（「異議なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） 御異議なしと認めます。
よって、意見書案第 2 号から意見書案第 5 号までの 4 案件は、原案のとおり可決されました。

○議長（山居忠彰君） 以上で本定例会に付議されました案件の審議は全部終了いたしました。
令和 6 年第 2 回定例会はこれをもって閉会いたします。
御苦労さまでした。

（午前 10 時 33 分閉会）

以上、本会議のてん末を記載し、その相違なきことを証するため、ここに署名する。

令和6年6月21日

士別市議会議長 山 居 忠 彰

士別市議会副議長 村 上 緑 一

署 名 議 員 加 納 由美子

〃 奥 山 かおり

〃 西 川 剛